

## ケアポート板橋 安藤 貴規

**功 績** 新型コロナウイルスの影響で休止していた「こども食堂」再開に、栄養課というストレングス（調理）を活かし、チームの中心として部署の垣根を越えた連携を図り、再開を実現させることができる。また、お越し下さった地域の方からも、活動再開に対し多数の感謝のお言葉や笑顔を頂く事ができた功績。

**推 薦 者** 平田 敏理（東坂下事業所所長）

**推 薦 理 由** 多職種連携を主導し、地域の為に行動に移す実行力はまさに職員の模範となる事例となりました。また、地域の方々の期待に応え、感謝をされる結果に繋がり、MVVにある「地域には貢献を」、及び「職員にはやりがいと成長の場」という価値の提供に繋げた安藤職員の行動は、理事長賞に相応しい事例であると思ひ推薦させていただきます。

### 内 容

---

「子ども食堂」は、農林水産省が推進する第3次食育推進基本計画に位置付けられる事業となっております。東坂下デイサービスの空き時間を活用し、月2回のペースで実施して参りましたが、新型コロナウイルスの影響で令和2年2月を最後に「こども食堂」が休止状態となってしまいました。

運営継続に不可欠であった東京家政大学学生のボランティアも外部活動の自粛を強いられ、事業所としても再開に二の足を踏む日々が続いておりました。

そんな折、安藤職員より「栄養課が手伝えれば再開出来るのでは?」と提案があり、栄養課、事務局、東坂下事業所がひとつとなり、再開に向けた打合せを開始。感染リスクが少ない「お弁当配布」という形で決定し、メニューの考案、必要物品の選定まで中心となりチームを牽引してくれました。

迎えた12月18日、当日も勤務後に調理、お弁当の盛り付けと中心になり活躍。35個用意したお弁当も約30分で完売。その後も続々と地域の方がお越しになる大盛況となりました。

地域の方からは「再開を楽しみに待っていました。」「次の開催を見逃さないように注意深く掲示板見ておきますね。」「晩御飯の支度をしなくて済むので大変助かります。」等、多数のお声を頂きました。食べ終わった地域のこどもが「美味しかったです。また楽しみにしています。」と笑顔で伝えに来て下さる光景もあり、暖かい気持ちを頂きました。また、地域の方から「通常の業務でお忙しいにもかかわらず、美味しいごはんと素敵な笑顔をありがとうございました!!」という感謝のメールも頂戴することができております。